

"BIG DREAMS"with" BIG SMILE"

“自己実現 自主自立 そして夢の実現”

このうら



佐世保市立神浦小学校

今年度のキーワード 学校便り

『つなぐ(繋ぐ)』No.45

平成28年1月21日(木)

文責：校長 園田俊郎

学校教育目標：心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

今週は本格的な冬到来！・・・という感じで厳しい寒さでした。皆様、いかがお過ごしでしたでしょうか？これまで暖かい日が多く、そのことに慣れていただけに余計に寒さを大変に感じます。

どんなことでも「慣れ」というのは怖いですね。「慣れる」ことにより様々な感覚が「鈍感」になります。それが「油断」を生み、「油断」がミスや事故につながります。学校においての様々な「油断」は、子どもの事件・事故につながるかもしれません。

本校での教育活動をより一層充実させるためにも、子ども達の安全・安心のためにも「慣れて、鈍感」にならないように、気を引き締めていきたいと思います。

今週末も再び寒さ厳しく荒れた天候になるようです。市内ではインフルエンザによる学級閉鎖を実施した学校も出ています。本校の子ども達にも風邪気味でお休みをした子もいました。早寝・早起き・栄養のある食事、そして手洗い・うがい等をしっかり行なって病気の予防にも努めたいものです。



故郷の伝統文化〇〇鬼火焚き

1月7日(木)、放課後子ども教室の活動として恒例の「鬼火焚き」が行なわれました。一年間の無病息災や家内安全を願って行なわれるこの行事、今年も早朝より子ども達、保護者の皆さん、地域の皆さんが集まって実施されました。名称は「どんと焼き」等、様々ですが全国各地で継承されている行事です。最近では行なわれている地域も大変少なくなっているようです。寒い中、暗闇に浮かび上がる炎や飛び散る火の粉、はじける竹の音、焼餅やぜんざいの味、子ども達は忘れない思い出となるでしょう。



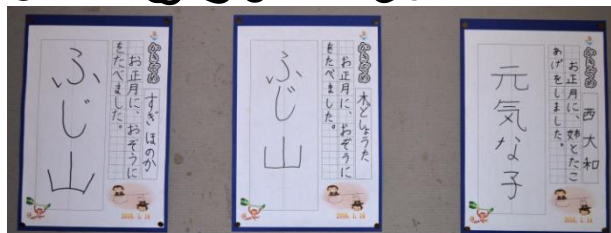
もともと各地で地域の自治組織や子ども会等で行なわれている行事です。神浦小学校はなくなりますが、地域の子どもと大人が関わり合う古くからの伝統行事、地域の中で残り続けるといいのになと思います。

日本の伝統文化〇〇書き初め大会〇〇書き初め展

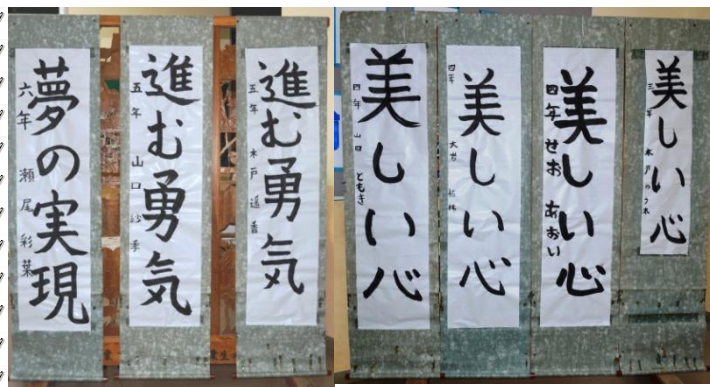
都合により例年より遅い実施となりましたが、今年度も「書き初め大会」を行ないました。まだ書道を学習していない1・2年生は硬筆(鉛筆とフェルトペンを使用)3年生以上は毛筆で大きく長い条副紙に書きます。(3年生は少し小さな条副紙です)

寒い日でしたが、3年生以上は、体育館で行ないました。冷たい空気の中、気持ちを集中させ書き上げます。

できあがった作品をどうぞご覧ください。(児童玄関に掲示しています。)



1・2年



5・6年

3・4年

3年生は初めての条副紙挑戦です。真剣です。上手です！



平成27年度
小中高一貫教育地区報告会
1月22日(金)

14:20～宇久小体育館

最初にアトラクションとして、小中高の児童生徒による合唱(2曲)も行なわれます。

ぜひ多数ご参加いただき、宇久地区の教育の現在と未来について一緒に考える機会として頂きたいと思ひます。